

沖縄本島に織物と伝統文化を学ぶ研修ツアー（4・5日間）

～芭蕉布、紅型、花織、琉球絣、焼き物、ガラス工芸～

12月15日出発（12/15～18・19）

2020年11月2日

アジア文化造形学会事務局

アジア文化造形学会ではラオスなどへの海外研修旅行を計画していましたが、コロナ禍の中でしばらくは難しくなりました。そこでGo To トラベル事業を利用し沖縄へ伝統文化を訪ねる企画を作成しました。

かつての琉球王国である沖縄。

交易の中継点として繁栄し、日本とは異なった独自の文化を築いてきました。琉球王朝の保護により、染織や焼き物などの工芸品も発展しました。

染織を訪ね沖縄をまわってみるとその多様さには驚かされます。

絣（かすり）一つ取っても、経絣（たてがすり）、緯絣（よこがすり）、経緯絣があり、紅型（びんがた）、花織、紬（つむぎ）、苧麻（ちよま）、芭蕉布（ばしょうふ）など多種に渡っています。特に糸芭蕉の繊維から作る芭蕉布は世界的に見ても沖縄独特のものです。

世界的に見ても、狭いエリアにこれだけ多種の技法が混在しているのは珍しいと言えるでしょう。

陶器（やちむん）も400年の歴史があり琉球王朝の庇護のもと発展しました。人間国宝、故金城次郎氏の魚文の器は有名です。

今回の企画は染織を中心に陶芸やガラス工芸なども含めた沖縄の伝統文化を訪ねる企画として設定しています。食も文化ですので食事にもこだわりました。

一般の方には公開されていない工房や専門家の方々によるレクチャーや交流などを予定しています。

詳細はアジア文化造形学会までお問合せ下さい。

① 費用概要

Go To トラベル事業を利用します。

4泊5日2名1室の場合、Go To トラベル適応後の代金は104,000円、これに地域共通クーポンが24,000円分付与されますので、実質ツアー代金は80,000円程度になります。

羽田空港以外からの参加や参加日程の一部変更などにも対応予定です。

詳細はアジア文化造形学会事務局までお問合せ下さい。

② 日程（羽田以外の発着を希望される方はご相談下さい）

日程		内容
1 12/15 (火)	午前	06:55 羽田空港集合 07:35 JAL903にて羽田より那覇へ 10:35 那覇着
	昼食	沖縄第一ホテルにて沖縄菜膳料理 ※1
	午後	沖縄県立博物館見学 ※2、やふそ紅型工房見学（那覇市大道） ※3 見学後糸満市のホテルへ
	夕食	各自になります（地域共通クーポンをご利用下さい）

	食事 宿泊	朝食× 昼食○ 夕食× サザンビーチホテル&リゾート沖縄泊（糸満市） https://www.southernbeach-okinawa.com/ ※1 沖縄の野菜をいんだんに使った薬膳料理です。約50品目の食品を使った有名な朝食を特別にお昼にお願いしました。オーナーの渡辺克江さんのお話も伺います。 https://www.smartmagazine.jp/okinawa/article/meal/21337/ ※2 12～1月は、企画展「沖縄の藍～自然と人の織りなす製藍の技～」を開催中です。常設展と企画展両方を見学します。企画展は琉球藍についての著書「沖縄島々の藍と染色」もある小橋川順市氏（知花花織事業協同組合理事長）に特別にガイドをお願いしています。 https://okimu.jp/exhibition/okinawanindigo/ ※3 琉球びんがた事業組合理事長も勤め、現代の工にも選ばれた屋富祖幸子さんの工房です。一般の見学は断っていますが特別にお願いしました。
2 12/16 (水)	午前 昼食 午後 夕食 食事 宿泊	沖縄本島北部へ 嵐山琉球藍製造所（名護市嵐山）見学 ※4 大宜味村にある島野菜を使った伝統的な料理を出すお店（予定） 大宜味村立芭蕉布会館、芭蕉の畑見学、平良美恵子さんによる芭蕉による糸づくり体験 平良美恵子さんの工房にてお話と貴重な古布を見せていただきます ※5 国頭郡恩納村のホテルへ 各自になります（地域共通クーポンをご利用下さい） 朝食○ 昼食○ 夕食× 沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ泊（国頭郡恩納村） https://kariyushi-oceanspa.jp/ ※4 琉球藍製造の唯一の国選定保存技術者、故伊野波盛正氏の技術を引き継いだ中西氏に案内をしてもらいます。ここで作られた藍は沖縄の多くの織物組合で使われています。 ※5 世界的にも有名で貴重な芭蕉の繊維から作る芭蕉布。沖縄染織の中心的な存在でもある喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長 平良美恵子さんにお話と芭蕉による糸づくり、芭蕉畑の案内をお願いしました。平良さんの個人工房も訪問し貴重な古布も見せていただきます。特別にお願いしています。 https://www.tabirai.net/sightseeing/tatsujin/0000322.aspx 美恵子さんの義母であり、重要無形文化財の保持者（人間国宝）に指定されている平良敏子さんは御年 99 歳、現在も芭蕉布会館の作業場で糸作りを続けています。途絶える寸前であった芭蕉布を戦後に復興させたことでも有名な方です。敏子さんの作業風景も見るすることができます。
3 12/17 (木)	午前 昼食 午後 夕食 食事 宿泊	読谷村にて花織会館見学 ※6、やちむんの里（陶芸） ※7、宙吹ガラス工房見学 ※8 ※陶芸工房が集まるやちむんの里では自由時間を取っています。 有名な沖縄そばの店を予定 引き続き読谷村にある陶芸工房見学 沖縄市荷移動し知花花織協同組合（沖縄市）見学 ※9 見学後那覇へ 各自になります（地域共通クーポンをご利用下さい） ご希望の方には 1972 年創業「古酒と琉球料理の店うりずん」（那覇市安里） ※9 にご案内します。 朝食○ 昼食○ 夕食× 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ泊（那覇） https://kariyushi-urban.jp/

		<p>※6 読谷山花織・読谷山ミンサー織で有名な読谷山花織事業協同組合です。花綜紉(はなそうこう)を用いる「緯浮(よこうき)花織」「手(てい)花織」などがあります。</p> <p>※7 沖縄の陶器の伝統・文化・歴史を感じられる場所。赤瓦屋根の大きな登り窯を見ることができます。煤煙問題があり那覇の壺屋から移転した多くの陶芸家が集まっています。人間国宝 故金城次郎氏の後継者の工房もここにあります。 http://www.okinawainfo.net/yomitan.htm</p> <p>※8 琉球泡ガラスの代表的な作家、 稲嶺盛吉氏とその後継者 稲嶺盛一郎氏の工房&ギャラリーもやちむんの里の中にあります。 http://kidhouse-glass.jp/about.html</p> <p>※9 初代店主、故土屋氏は戦後沖縄の泡盛の古酒復活に努力された方です。 http://urizun.okinawa/index.html http://urizun.okinawa/pg133.html</p>
4 12/18 (金)	<p>午前 那覇市伝統工芸館見学 ※10</p> <p>南風原町へ移動し南風原文化センター（南風原町）見学 ※11</p> <p>昼食 南風原町市内にて沖縄料理を予定</p> <p>午後 南風原町観光協会によるかすりの道ツアー ※12</p> <p>ウージ染め協同組合ショップ（豊見城市）見学 ※13</p> <p>4日間コースの方：那覇空港へ、夕方便で羽田へ（ANA474 18:25 発 20:40 羽田着）</p> <p>5日間コースの方：空港経由でホテルへ</p> <p>夕食 各自になります（地域共通クーポンをご利用下さい）</p> <p>夜 ご希望の方には、沖縄の伝統音楽「島唄」のライブハウスにご案内</p> <p>食事 朝食○ 昼食○ 夕食×</p> <p>宿泊 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ泊（那覇） https://kariyushi-urban.jp/</p> <p>※11 町立の博物館。沖縄やアジアの古布を多く所蔵しています。学芸員の平良次子さんに特別にお願いし、沖縄の古布やアジアの古布を見せていただきお話しを伺います。南風原・沖縄に関する歴史資料や沖縄戦に関する展示、移民やむかしの暮らし等の展示も見ることができます。</p> <p>※12 南風原町は古くから琉球かすりの制作が盛んな地域。南風原町のかすりの道には織物工房や関連する糸張場等、かすり制作の工程を知る事が出来る散策ルートを町が設定しています。地域ガイドと一緒にかすりの道を歩きながら、かすりの歴史や職人達の作業風景を見ることができます。観光協会にお願いしています。</p> <p>※13 ウージ染めとはさとうきびを利用した染め物、織物のことをいいます。パステルカラーの美しい染めです。町おこしとして近年始まりました。ショップと作業場は空港の目の前にある道の駅「豊崎」の中にあります。</p>	
5 12/19 (土)	<p>終日 フリー（ご希望の方には那覇をご案内します）</p> <p>空港までの移動費用は各自負担になります。</p> <p>夕方便で羽田へ（ANA474 18:25 発 20:40 羽田着）</p> <p>朝食○ 昼食× 夕食×</p>	

③ 募集人数 8～12名

④ 添乗員

沖縄の染織や文化に詳しい添乗員が4泊5日コースに同行します。3泊4日の方は、那覇空港で別れることとなります。

⑤ お問い合わせ

アジア文化造形学会事務局